

自然と文化科 活動記録 (公開講演会)

日時	2025年10月17日(金) 10:00~15:00	担当者
場所	高槻市生涯学習センター 午前：公開講演会 多目的ホール 午後：各委員会、全体会議、班会議、運営委員会等	早川 憲
備考	参加者数 1班23名 2班20名 3班18名 4班19名 他11名 合計91名	

- 講演のテーマ：植物のちから 薬用植物導入編
- 講演者名：(元)神戸薬科大学薬用植物園 沖 和行 先生
- 講演要旨：植物たちには、生きるための工夫や仕組み、そしてたくましい力があります。花の色、葉の色、紅葉や落葉の色、そして植物の香りや味、そうしたものにも生きるための無駄のない理由があり、私たち人類は古くより、そうした植物の力をうまく生活の中に取り入れてきました。



病気を治し、健康を維持するために用いる薬のほとんどが植物から作られているように、私たちの健康を守る薬というものを植物の目線からひも解いてみると、それぞれの植物が生きていくための「植物のちから」の一つを利用させてもらっているにすぎません。今回はこの植物のたくましい力を理解して頂ければ嬉しいです。

- 薬用植物(薬に使われる植物)・・・()内は生薬名、【 】内は薬効

◎食べる植物

- *イチヨウ(銀杏：ギンキョウ)【糖尿病、老化防止、夜尿症】 *イチジク(無花果：ムカヒ)
- 【便秘、咽喉痛】 *クズ(葛根：カッコン)【風邪、解熱】 *カキ(柿蒂：シテイ)【高血圧、シャククリ】
- *ヤマノイモ(山薬：サンヤク)【滋養強壮、疲労回復】 *ウンシュウミカン(陳皮：チンピ)【健胃、風邪、去痰、陳咳】

◎食べる植物(薬味)

- *ワサビ(山葵根：サンキコン)【食欲増進、防腐殺菌】 *ショウガ(生姜：ショウキョウ)
- 【健胃、解熱、食欲増進】 *サンショウ(山椒：サンショウ)【解毒、回虫駆除】 *シソ(蘇葉：ソヨウ)【発汗、健胃、抗菌】
- *ヤナギタデ(水蓼：スイリョウ)【寄生虫予防、消化促進】

◎薬用樹木

- *モクレン(辛夷：シンイ)【鼻炎、蓄膿症】 *ツバキ(山茶花：サンチャカ)【滋養強壮、頭髪油】
- *サクラ(桜皮：オウヒ)【咳、痰、あせも】 *ホオノキ(和厚朴：ワコウボク)
- 【咳、痰、美白】

◎野草など

- *キキョウ(桔梗根：キキョウコン)【咳、痰、気管支炎】 *ナルコユリ(黄精：オウセイ)
- 【滋養強壮、リュウマチ】 *イカリソウ(淫羊藿：インヨウカク)【強壮、強精】 *キカラスウリ(カロコン)【あせも、あかぎれ】
- *クロモジ(釣樟：チョウショウ)【芳香性健胃、香料】

◎有毒植物の利用

- *トリカブト(烏頭：ウズ)【強心、代謝回復】 *マムシグサ(天南星：テンナンショウ)【去痰、鎮痙】
- *アセビ(馬酔木：バスイボク)【農業用の殺虫】 *チョウセンアサガオ(曼陀羅華：マンダラゲ)【麻酔、鎮痛】
- *ジギタリス(ジギタリス)【強心、利尿】

所感：

長い年月をかけ環境に応じて進化してきた植物が、独自の適応を行い、さらに自身に害する環境に対抗するための防御方法を編み出していた。その植物の力を人間も長い年月をかけ、薬という方法で利用してきた。昔の人々に感謝するとともに、さらに植物から新しい薬が開発されることに期待したい。